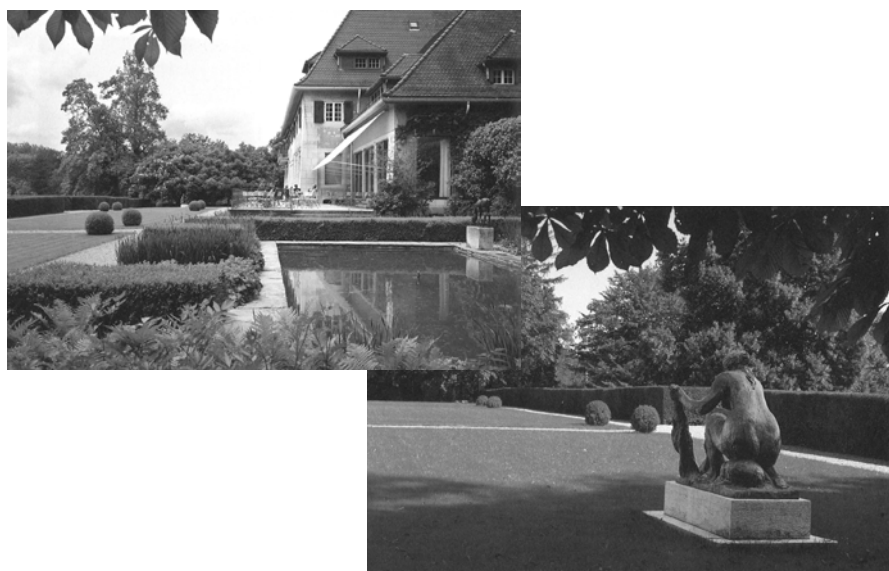


スイス国立チューリッヒ芸術大学教授による マスタークラス

Zürcher Hochschule der Künste Master Class

要 項



TIAA

東京国際芸術協会

<主旨>

これからもっと音楽を勉強したいという音楽家を対象に豊かな表現力や、可能性を引き出し、国際的に活躍できる音楽家の育成として、その学習機会を提供し、もって音楽文化の発展、向上に寄与することを目的として開催します。

<実施概要>

スイス国立チューリッヒ芸術大学マスタークラスが2017年8月に開催されます。教授陣は高い専門知識をもち、現役の音楽家として活躍する専門家で構成され、教授の多くは世界中での演奏実績と共に、国際コンクールの審査員もしています。スイス国立チューリッヒ芸術大学は1873年に設立されて、約140年の歴史を持つ芸術大学です。世界的に有名な音楽家を輩出(チャイコフスキー国際バイオリンコンクール優勝者神尾真由子・ショパン国際ピアノコンクール優勝者ユリアンナ・アウデーワ等)し、素晴らしい素質を持った音楽家達が多く在籍しております。希望者には、現地留学事情、住居等の生活事情についての情報交換、チューリッヒ芸術大学受験に際しての情報交換も可能です。すでに卒業され活躍されている音楽家の方々にとっても、様々な教授のレッスンを聴講することで今後の指導法にも大きく影響を与えています。また、音楽教室も校内には併設されており、青少年の音楽教育にも力を入れているのと、観光等も充実しているので、親子参加の方々にも充実した日々を過ごして頂けます。チューリッヒ芸術大学マスタークラスを経てチューリッヒ芸術大学に入学した人数はこれまでに10名を超える実績があります。

<マスタークラス日程>

A日程:2017年8月24日(木)~8月29日(火)

渡航日程:8月24日出国/24日10時までに空港集合・13時よりレッスン開始~8月30日帰国(8月29日現地出発)

B日程:2017年8月30日(水)~9月4日(月)

渡航日程:8月30日出国/30日10時までに空港集合・13時よりレッスン開始~9月5日帰国(9月4日現地出発)

C日程:2017年9月5日(火)~9月10日(日)

渡航日程:9月5日出国/5日10時までに空港集合・13時よりレッスン開始~9月11日帰国(9月10日現地出発)

*Aコースで第一次締め切までにお申込の方はANAとルフトハンザ航空との共同運航便で羽田深夜発です。8月23日夜羽田空港集合、出発です。

*詳細は下記<渡航について>を必ずご一読下さい。

<開催地>

スイス国立チューリッヒ芸術大学(スイス・チューリッヒ)

※ピアノ、トロンボーン、クラリネット、オーボエ、室内楽レッスンは大学にて行います。また、カルミナ四重奏団をレジデント(客員教授)として持つチューリッヒ芸術大学では室内楽(歌曲伴奏、デュオからアンサンブルまで)にも力を入れています。

<スイス国立チューリッヒ芸術大学教授>

ピアノ科:Karl Andreas Kolly(カールアンドレアス・コリー)※AB日程 / Hans Juerg Strub(ハンス ユルグ シュトループ) ※BC日程のみ / Eckart Heiligers(エックハルト・ハイリガーズ) ※BC日程のみ

ヴァイオリン科※AC日程:Rudolf Koelman(ルドルフ・ケールマン) / Susanne Frank(スザンネ・フランク・カルミナ四重奏団) Matthias Enderle(マティアス・エンデレ) / Andreas Janke(アンドレアス・ヤンケ)

ビオラ科:Wendy Enderle(ヴェンディ・エンデレ)

チェロ科:Mrtina Schucan(マルティナ・シュカン)

フルート科:Marianne Goldschmidt(マリアンネ・ゴールドシュミット) / Christian Studler(クリスティアン シュトラー)

オーボエ科:Loise Pellerin(レイス・ペレリン)※AB日程のみ

クラリネット科:Fabio Di casola(ファビオ・ディ・カソラ) ※C日程のみ

トランペット科:Claudio Rippers(クラウディオ・リップパーズ)

サクソフォン科:Jean George Koerper(ジーン・ゲオルグ・ケルパー)

トロンボーン科:Stanley Clark(ステンリー・クラーク)

ユーフォニアム科:Thomas Ruedi(トーマス・リュエディ)

チューバ科:Anne Jelle Visser(アン・ジェリ・ヴァイザー)

声楽科:Scot Weir(スコット・ワイヤー)

※その他の楽器でも受講が可能です。他楽器で詳細経歴をお知りになりたい方は、第一次締め切り前に事務局お問い合わせ下さい。

※ヴァイオリン科には一部の先生でレベル制限がございます。Rudolf Koelman(ルドルフ・ケールマン) 教授と Andreas Janke(アンドレアス・ヤンケ) 教授のレッスン受講に際しては、イザイ無伴奏やパガニーニのカプリスを課題曲(暗譜必須)として問題なく演奏できることが参加の条件となります。

<レッスンについて>

チューリッヒ芸術大学教授によるマンツーマン主科個人レッスンの1回のレッスン時間は45分レッスンです。期間中2回の個人レッスンを受講します。また、レッスン以外の時間は他の受講者のレッスンを聴講することになります。他の専攻の生徒様たちの演奏を聞き、教授のレッスンを体験する貴重な機会となります。

※曲の時間の目安は、45分のレッスンに対して13分程度です。1曲での申し込みも可能です。

※申し込み時に提出されたレッスン曲目についてご不安のある場合は事前説明会までに教授陣アシスタントの先生に相談可能です。

<マスタークラス参加費>

600 スイスフラン (2017年3月31日現在 1スイスフラン約115.92円換算 69,552円)

室内楽 850 スイスフラン (2017年3月31日現在 1スイスフラン約115.92円換算 98,532円)

※追加レッスン 1レッスンにつき特別料金 27,000円(レッスン同時通訳 込み)

海外で音楽を学ぶという貴重な機会を有意義に過ごしていただくため、教授陣のご厚意により特別に追加レッスンの時間を設けていただけることになりました。値段も通常のレッスンよりお安くしていただいております。

これまでのマスタークラスでは、参加者の70~80%の方が追加レッスンを希望しています。特に受験を考えていらっしゃる方々においては、教授陣が4回以上のレッスンを希望しております。

<修了証>

マスタークラス修了日に担当教授よりチューリッヒ芸術大学マスタークラス修了証が授与されます。

<定員>

A日程からC日程まで 各コース6名(定員になり次第締め切り)

<渡航・宿泊・食事>

第一次締切 448,403円(26歳未満) 454,199円(26歳以上)

第二次締切 452,403円(26歳未満) 458,199円(26歳以上)

旅行費用 ※旅行費用詳

ホテル1人部屋5泊6日朝食込み、食事(昼食5回、夕食5回)ホテル代と食事の合計128,600円

※食事時の飲み物代は自己負担 ※昼食夕食合わせて40フラン程度を予定しております

スイスパス8日間(26歳未満340フラン、26歳以上390フラン及び美術館及び交通費等観光費用等)

※スイスパスで空港からホテルまでの往復移動、レッスン会場への移動、自由行動時の公共交通機関の利用をまかさないです。

※スイスパスについては数か月ごとに値段が改訂されるので、ご請求書発行時の金額でご請求いたします

※1フラン115.92円(2017年3月31日現在 換算39,413円(26歳未満) 45,209円(26歳以上))

往復航空券 第1次締切206,000円 第2次締切21,000円

現地教授アシスタント先生通訳同行費(TIAAより派遣) 28,500円

その他航空券に係る費用(燃油サーチャージ、国内空港使用料、現地国際空港税含む) 28,610円

※航空券に係る費用につきましては燃油の高騰、レートの変動等にもとない、金額が変更となります。

※燃油サーチャージの廃止時には当該分は請求いたしません。

事務手続き代金 12,960円 海外送金手数料 4,320円

***年齢は出発日時時点の年齢です。**

<渡航について>

※Aコースは一次締切までのお申込みに限り、全日空羽田発深夜便となり、行きのみ日本からの教授陣アシスタントの付き添いがございますので初めて海外に行かれる方でも安心してご渡航いただけます。Aコースの一次締切以降のお申込及びBCコースは全日空、日本航空、その他欧州系の航空会社となります。

※BCコースは現地到着空港で教授陣アシスタントの先生が出迎えます。一次締切、二次締切共日本からの付き添いはございません。(渡航時の注意点等については、説明会で詳細な説明を行います。)

※帰国便についてはABC全てのコースで羽田、または成田発着となります。帰国便の成田空港または羽田空港までの付き添いはございません。

※東京以外の発着については、お手配が可能な場合に限り、国内線の乗継便のお手配を受け賜ります。国内線分の代金が別途発生する場合がございます。

※マスタークラス終了後の延泊や、他都市を周遊してからの帰国のための帰国便の変更につきましてはお手配が可能な限り承ります。その場合、別途航空券代の差額が発生する場合がございます。**マスタークラス前後、延泊期間及びその帰国便については自己責任の範囲となりますのでご了承ください。**

※飛行機自己手配の方は、**後日、ご自身で手配した利用飛行機会社、便名、出発および到着日時をお知らせいただきます。**往復航空券その他、サーチャージ、空港税等は、上記旅行費用から差し引きます。自己手配の方においては飛行機の遅延等によって集合時間に集まらない場合、もしくは延着をしてレッスンに間に合わない場合等において一切の責任は負いません(ホテル代金等の返金はなし)。自己の責任においてご対応をお願いいたします。自己手配の方においては原則として1人部屋のみの手配となります。

※飛行機自己手配の方は、講習開始初日午前8時から午前10時に空港集合となります。協会手配の参加者と一緒に滞在先のホテルまでご案内します。先に送迎等の手配をして単独でホテルに向かうことはできません、必ず空港集合となります。詳細集合時間は説明会にて発表します。

※帰国時はホテルにて解散となり、ご自身にて空港までご移動いただけます。協会手配の飛行機と同時間帯であっても、空港までのご自身での移動となります。教授陣アシスタントの同行はありません。

※宿泊先、食事の自己手配はできません。航空券自己手配の方も現地集合後は安全上同行員の指示に従ってください。

※チェロ等、飛行機内持ち込みに制限がある楽器につきましては、機内座席を参加者ご自身の席を含め、2席購入していただく場合がございます。詳しくは教授陣アシスタントの先生にお問い合わせください。

※ABCコースとも参加人数が3名を切る場合にはマスタークラスを実施しない場合がございます。また、教授のご都合によりお申し込み後にコースを移動していただく場合もございます。飛行機自己手配の方につきましてはマスタークラス実施決定後に飛行機をお手配いただきますようお願いいたします。

<滞在・生活について>

※滞在中は団体行動となります。お互いに配慮した行動をお願いします。

※安全のため、現地にて夕食後、ホテルに戻って以降のホテルからの外出は、原則としてご遠慮いただきます。

※マスタークラス開催期間中に現地ツアーの参加や知人と会う事は、急な予定変更等もありますためご遠慮いただきます。

※事前説明会において、曲目に関するアドバイス、レッスンの形態、現地での生活など、様々な疑問に対して、現地での教授アシスタント同行通訳スタッフがお答えします。説明会でご説明した内容については順守していただきます。また、留学をお考えの方々に対しては、留学等のアドバイスもいたします。説明会は一括説明の後に、それぞれの方々からの個別質問、その後に個別相談という形になります。

<宿泊・食事について>

※滞在先ホテルは1人部屋をベースとしております。(ご希望に応じて友人や親子参加の場合は2人部屋手配可能)

※朝食・昼食・夕食込み、食事は原則的には皆様ご一緒の時間にまとまってお取りいただきます。

朝食はホテルでのビュッフェ、昼食、夕食は現地での一般的なランチスタイル・レストラン等での食事となります。

※チューリッヒ芸術大学への往復およびレッスンにおいて教授アシスタントが同行します。

※宿泊ホテルは指定した1箇所のホテルでの滞在となり、教授アシスタントも一緒に滞在いたします。

<レートについての注意事項>

上記費用のレート計算につきましては、費用ご請求書発行時(お申し込み受諾後)のレートを適用させていただきます。レートにより、上記費用が変動になる可能性がございます。ご了承下さい。

<申込方法>

要項挟み込みの申込書に必要な事項を記入の上、下記事務局までお送りください。声楽受講者は伴奏譜も一緒にお送りください。申込書ご提出後、当協会、また教授陣アシスタントの方との連絡手段は主にメールとなります。パソコンメールのアドレス(ない場合は携帯)を必ずご記入下さい。携帯のアドレスの場合は、必ずパソコンからのメールを受け取れるようにしてください。申込書ご提出後は当協会や教授陣アシスタントからのメールによる連絡を見落とさないようお願いいたします。

<申込締切日>

第一次申し込み締め切り 2017年5月17日(水)必着(FAXの場合は18時まで)。

但しそれ以前でも、申込者が定員になり次第、締切られます。

下記備考欄に、オーディション受講と記載頂いた方については、受講料免除(合格・準合格)の場合、申し込み後でも適用されます。申込振込後受講料については返金いたします。

第二次申し込み締め切り 2017年6月7日(水)必着(FAXの場合は18時まで)。

第一次申し込みで締め切りになっている場合もございます。

※特殊楽器での参加や親子参加等の方はできるだけ第一次締め切りまでにお申し込み下さい。

<キャンセルについて>

申し込み後のキャンセルはキャンセル料として事務手続き代金 12,960円を収受します。申込締切日以降のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の50%、渡航1ヶ月前以降のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の75%、無連絡不参加及び旅行開始後のキャンセルは旅行費用から航空券代金を引いた額の100%を収受します。

※渡航業務に関しては東京国際芸術協会より下記の旅行会社に委託します。渡航手続き関連に必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。(株)東京国際ツアーズより直接ご連絡を差し上げますので予めご了承ください。

株式会社東京国際ツアーズ 観光庁長官登録旅行業 1353号 (社)日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301 TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

※航空券につきましては早期割引運賃航空券のため、原則予約変更不可です。予約の変更や取り消しの場合は航空会社所定の手数料及び弊社手数料を頂戴します。

<その他>

※このマスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

※マスタークラス参加にあたってはご滞在期間をカバーする海外旅行保険の加入が義務付けられています。クレジットカード付帯の保険は認められておりません。必ず保険会社の海外旅行保険にご加入ください。現地で緊急に通院等が必要な場合に備えて、緊急時に日本語のサポートがあるような保険会社をお勧めいたします。当社がお勧めする海外旅行保険はお申し込み後にご案内いたします。

<説明会のお知らせ>

マスタークラス全体説明会を2017年7月2日(日)午後15時に西日暮里駅近辺の会場にて行います。説明会の場所及び詳細な日時については決定次第お申込者様にご案内いたします。説明会には必ず参加をお願いいたします。ご参加者本人のご都合がどうしてもつかない場合には、代理人(ご家族様)が必ずご参加ください。また、未成年の方が講習に参加する場合は、ご両親様の参加もお勧めしております。

<教授陣プロフィール>

●Karl Andreas Kolly (カールアンドレアス・コリー) 教授



教会オルガニストである父親 Karl Kolly と Karl Grenacher から初めにピアノレッスンの手ほどきを受け、Zuerich Musikakademie にて Hans Schiker の元で学ぶ。ベルンでは Karl Engel の元でマスタークラス受講、1991 年には最優秀ソリストディプロマである、Eduard Tschumi Preis を受賞。ルツェルンでは Mieczyslaw Horczowski の元でマスタークラスを受講、Jecklin コンクール第一位、チューリッヒでは Landolt und Hochschul 賞、Prix Maurice Sandoz 内のコンクール第一位など数々のコンクールを制覇する。全ヨーロッパ、日本、韓国、オーストラリア、アメリカ合衆国でソロピアニスト、室内楽ピアニストとして、多くのコンサートを行い、大成功を収める。また、インターナショナルミュージックフェスティバルルツェルン、パッサウとドナウでのフェスティバルなどにも参加。チューリッヒ トーンハレオーケストラ、ベルンシンフォニーオーケストラ、スロヴァキアラジオシンフォニーオーケストラ、バルセロナ オーケストラ シンフォニーなどと共演。室内楽ピアニストとして Trio Novanta を結成し、ブラームス、フランクの全作品集を演奏する。1992 年にはシューマンの演奏と共に初 CD を作り、好評を博す。それ以来、30 枚以上の CD を作成している。現在はチューリッヒ国立音楽大学大学院で教授として指導にあたっている。

*カールアンドレアス・コリーは音楽史やヨーロッパ史において、博識高く、ピアノの演奏だけでなく、様々な作曲家のエピソードも聞くことのできる教授です。

●Eckart Heiligers (エックルト・ハイリガーズ) 教授



Karl-Heinz Kämmerling の元で Hannover 音楽大学を卒業し、Baltimore では、Leon Fleischer の元で学ぶ。様々な奨学生に選ばれる。(USA. Stipendiat der Studienstiftung des Deutschen Volkes, des DAAD und des Deutschen Musik-wettbewerbs. France Graage Performance Scholarship)Vercelli, Athen, Salt Lake City und Oslo 等の国際コンクール優勝者であり、ソリスト・室内楽奏者・歌曲伴奏者として、世界中でコンサートを行っている。また、国際コンクールでの審査員も務める。

*ヨーロッパで 1 番のトリオと言われている Jean Paul Trio のピアニストでもあるエックルト・ハイリガーズ。テクニックと共にダイナミックかつ繊細な音楽性を兼ね揃える彼は、CDリリースにおいても絶賛されています。

●Hans Juerg Strub (ハンス・ユルグ・シュトループ) 教授



Christoph Lieske による指導を Winterthur 音楽院で受け、すでにこの時から数多くのコンクールで優勝する。14 歳でオーケストラとの共演を果たし、16 歳でピアノリサイタルを開催し、スイス国営ラジオによってレコーディングも行われる。Hannover 音楽大学では、Prof. Hans Leygra の元で学びコンサートディプロムを取得する。Tatjana Nikolajewa, Gaby Cassadesus、Zoltán Kocsis、György Kurtág のマスタークラスで研鑽を積み、後の音楽性の発展に大きな影響を与える。1981 年に Jaén 国際コンクールで 3 位となり、1 年後 ドイツ音楽大学コンクールで 2 位を獲得する。《Concours Piano 80》では 3 度の優勝を果たし、1986 年には、《Festival International de Jeunes Solistes》in Bordeaux にて銀メダルを獲得する。Hannover で後進の指導にあたった後、1988 年よりチューリッヒ芸術大学で教鞭と取る。1997 年には、日本でもマスタークラスを行い、2006 年にはゲオルギアの名誉教授となる。ソリスト、室内楽奏者として、ドイツや日本でもリサイタルを行い、Tonhalle-Orchester Zürich und dem Stadtorchester Winterthur との共演や Gerd Albrecht, Mario Venzago, Theodor Guschlbauer, marc Tardue 等と共演する。ラフマニノフピアノ協奏曲や、ブラームス、シューマン等の CD をリリースしている。

*ハンス・ユルグ・シュトループの持つ音色の色彩の美しさには、ピアノの音の奏で方の多様性を学ぶ事が出来ます。彼の持つ音の世界には何万もの可能性がある事を知る事が出来ます。

●Rudolf Koelman (ルドルフ・ケールマン) 教授



アムステルダム音楽院で学び、1978 年から 1981 年に Jascha Heifetz 最後の弟子として、ロサンジェルス南カリフォルニア大学で学ぶ。その後 1999 年までロイヤルコンセルヘボールオーケストラ(オランダ)コンサートマスターを務める。コンサートツアーを行うと同時に数多くの CD 録音を行う。チューリッヒ音楽大学教授であると同時に、シドニー音楽院初め多くの客員教授として各国から招聘されている。

*2 年先の夏期講習の予定まで埋まっているルドルフ・ケールマンは、ハイフェッツから受け継がれた音色と共に、テクニックの素晴らしさと共に持つ音楽性を兼ね揃えるヴァイオリニストです。学内でも室内楽オーケストラを結成し、精力的に世界中を飛び回っている彼からのレッスンはまたとない機会となるでしょう。(受講にあたりレベル制限あり)

●Andreas Janke (アンドレアス・ヤンケ) 教授



Andreas Janke は、Tonhalle-Orchesters Zürich のコンサートマスターを務める。

ミュンヘンで生まれ、モーツァルテウム サルツブルク大学ではソロを Prof. Igor Ozim. に師事、室内楽を Hagen-Quartett に師事。様々な国際コンクール Königin Elisabeth Wettbewerb in Brüssel、Wettbewerb "Prager Frühling" で優勝し、全ヨーロッパおよび日本で公演を行う。London Symphony Orchestra, Royal Philharmonic Orchestra, Tonhalle-Orchester Zürich、die Academy of St.Martin in the Fields. と共演。様々な音楽祭にゲストとして迎えらる。ソニーとも契約を結び、定期的に CD もリリースしている。2013 年からチューリッヒ芸術大学で教授を務める。

*史上最年少でチューリッヒ芸術大学の教授となり、次世代を背負うバイオリニストとして、今ヨーロッパで注目のバイオリニストです。(受講にあたりレベル制限あり)

●Susanne Frank (スザンヌ・フランク) 教授

●Wendy Enderle (ヴェンディ・エンデレ) 教授



研ぎ澄まされた表現力、驚くべき完成度、そして比類なき音楽性を兼ね備えた弦楽四重奏団。1984 年にスイスで結成。「パオロ・ボルチアーニ賞」国際弦楽四重奏コンクールで大成功をおさめ(1 位なしの 2 位)、国際的メディアで報じられたことで、その名を世界中に轟かせることとなった。「将来は約束された」(ファイナンシャル・タイムズ)と評され、今まさに世界をリードする弦楽四重奏団である。シャーンドル・ヴェーグ、アマデウス弦楽四重奏団、ラサール弦楽四重奏団等に師事。ニコラウス・アーノンクールとの出会いは、彼らにオーセンティックな(古楽)奏法への強い創造的関心を引き起こした。内田光子、エリザベス・レオンスカヤ、エマニュエル・パユ、トルルス・モルク、ヴォルフガング・マイヤー、ザビーネ・マイヤー、アントニオ・メネセス、ヴェロニカ・ハーゲン、オラフ・ペーア、ヴォルフガング・ホルツマイヤー 等と共演するなど、その活動の幅を広げている。

批評家から高い評価を受けた DENON のシリーズでは英グラモフォン賞、仏ディアパゾン・ドール、仏ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック誌の Choc(最高評価)、ドイツ批評家賞など数々の賞を獲得し、グラミー賞にもノミネートされた。田部京子と共演した CD「シューベルト:ピアノ五重奏曲『ます』、シューマン:ピアノ五重奏曲」が音楽之友社主催、2008 年度レコードアカデミー賞の室内楽部門賞を受賞。現在、スイス ヴィンタートゥー

アのチューリッヒ音楽大学を拠点として、自らの豊かな経験と優れた芸術性を次の世代へ伝えている。

*各教授が、個々に素晴らしい音楽性を持ち、日本でも大好評を博しているカルミナ四重奏団のメンバーは、チューリッヒ芸術大学でも客員教授の地位にあり、個人レッスンを受けられる機会はとて貴重です。日本にも1年ごとに来日、公演を行っており、2015年の公演も大好評を博しました。

●Martina Schucan (マルティナ シュカン) 教授



14歳の時よりデトモルトでアンドレナヴァラ(D)のマスタークラスを受講。卒業後、ハインリッヒシフ、ダニエルシャフランとヤーノシュシュタルケルの元で研鑽を積む。フィレンツェでのガスバルカサドコンクールで一等賞を初め、国際コンクール多数受賞、世界中でのコンサート活動を行う。バンベルク交響楽団、メロポリタンオーケストラ東京などの著名なオーケストラと共演、管弦楽団スイスロマン管弦楽は、トーンハレ管弦楽団チューリッヒ等と競演、ルツェルン、シュレーズヴィヒ=ホルシュタイン州、ウィッテン、シュヴェツィンゲン、モンパリエ、ブラチスラバ、北京の国際映画祭等に招聘される。室内楽奏者としても、クフモ室内楽音楽祭、プロイセンコープ、ダボスに参加し、ユリバシメット、ジョルジ Kurtág、ハインツホリガー、ラファエルオレグ、ヴェロニカハーゲン、ヨーグウィッテンバッハ、カルミナ四重奏団などと共演をする。

*室内楽やソリストとして世界中を飛び回っているマルティナ・シュカンは指導者としても定評があり、毎年パブロカザルスフェスティバル等主要音楽祭へも招聘されています。2012年度はルツェルン夏の音楽祭でも招聘演奏を行う等活躍しています。

●Loise Pellerin (ロイス・ペレリン) 教授



モントリオール音楽院、フライブルグ音楽大学を最優秀で卒業したカナダ人である彼女は、チューリッヒ室内管弦楽団、ケルン WDR シンフォニーオーケストラ、カメラータベルンなどと共演し、ヨーロッパ、カナダでの国際コンクール審査員となる。そして、チューリッヒ、アテネ、ベルリン、ロンドン、ルツェルン、モントリオール、ニューヨーク、パリ、東京、ローマ、ザルツブルグの音楽祭に招聘され、Andras Schiff, Leonidas Kavakos, Heinz Hollinger, Radovan Vlatkovic と共演する、また演奏ツアーではアメリカ合衆国、ヨーロッパ、アジアにて行う。現在はチューリッヒ音楽大学教授であると共に、カメラータザルツブルグのソロオーボエニストとしても活躍。

*カメラータザルツブルグでは、定期的にアンドラーシュ・シフとの共演等、室内楽奏者及びソリストとして活躍し、数々のCDでも賞を得るなどの実績を残しています。音色の美しさに惹かれ、彼女の門下には世界中から生徒が集まっています。

●Fabio Di casola (ファビオ・ディ・カソラ) 教授



1998年にジュネーブでのスイス最優秀音楽家賞を受賞し、1991年Winterthur市立管弦楽団ソクロラリナッティストとなる。Evianでのフェスティバルでその才能をMstislav Rostropovicに発掘される。Heinz HollingerはSandor Veressのソクロラリネッティストとして抜擢され、1995年にはMikhail Pletnevの指揮の下ロシア国立オーケストラでのソリストを務める。ジュネーブでのCIEM国際コンクール第一位、Stresa現代音楽国際コンクール第一位、Prix SuisseのGrand Prix Patek Philippe第一位。

*現在は、ARD国際コンクールの審査員もザビーネ・マイヤーやカール・ライスターと共に務め、世界の第一線で活躍をしています。音色の美しさや多彩な色彩感と共に奏でられる音楽にはクラリネット音楽の大きな可能性を感じます。

●Thomas Ruedi (トーマス・リュエディ) 教授



1969年スイス、ベルン生まれ。11歳でユーフォニアムを始める。幼少の時から様々な学生コンクールで優勝するなど頭角を現した。1990年から95年までイギリス、シェフィールド大学でユーフォニアム、指揮、作曲、編曲を学んだ。学生時代はイギリス国内の著名金管バンドでも活躍した。ソリストとして世界中のオーケストラ、吹奏楽団、金管バンドなどと共演、またソロサイタルや室内楽のコンサートを精力的に行っている。A. Dubach, S. Carolino, P. MacCannなど世界中の優れた共演者からインスピレーションを受け様々なプログラムに取り組んでいる。演奏家としての活動のほか、Musikhochschule Luzern, Hochschule der Künste Bernで教授としてユーフォニアム、室内楽の指導にあたっている。また世界各地でもマスタークラスや個人レッスンなどを行っている。ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジアなど世界中で精力的に活動。1999年ミュンヘンで開催されたEuropean Solo Championships for brass playersでの優勝を始め、数々の国際コンクールでの入賞歴がある。これまでに「Elegie」,

「Synthesis」2枚のCDをリリースしておりいずれも話題になっている。チューリッヒ・トーンハレ交響楽団を始めスイスの著名なオーケストラでの客演も務めている。

*日本での公開講座でも好評を博したトーマス・リュエディは、呼吸法や基礎的なテクニック等も含めて、とても丁寧なレッスンを行います。世界的に第一線で活躍している教授からのレッスンは、またとない機会になるでしょう。

●Scot Weir (スコット・ワイヤー) 教授



主要な音楽祭、(ザルツブルグ音楽祭、ハイドン音楽祭、ベルリン音楽祭、ベルリンバッハ音楽祭等)に招聘されている、テノールのスコットワイヤーは、アメリカで生まれ、コロラド大学のProf. Louis Nningham, Dr. Barbara Doscher, Kammersänger Gerhard Hüsch, Gerard Souzay, Renato Cappechi, Ralph Herbertの元で学ぶ。度々、チューリッヒオペラハウス、パリのオペラ座等にも招聘されNicolaus Harnoncourt, Roger Norrington, Helmuth Rilling, Peter Schreier, Gennadi Nikolajewitsch Roshdestwenskij, Charles Dutoit, Sir Charles Mackerras, Jesus Lopez Cobosの指揮の下、でゲスト出演している。

1500以上の歌曲、や200以上のオラトリオ、75作品以上のオペラをレパートリーとしている。1995年からはベルリンのハンスアイスラー音楽大学で教授を務め、同時にバッハアカデミー(シュトゥットガルト)やコロラド大学のマスタークラス等の指導も行っている。2005年からチューリッヒ芸術大学の教授となる。

2017年夏期スイス国立チューリッヒ芸術大学マスタークラス

※必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

ふりがな						写真 (4.0cm × 3.5cm)
氏名	姓				名	
ローマ字	(LAST NAME)				(FRIST NAME)	
パスポート記載名 (ローマ字)	(LAST NAME)				(FRIST NAME)	
生年月日	年	月	日	年齢	歳 性別 男・女	
ふりがな						
保護者氏名	※18歳以下の方は保護者の同意をお願いします ①					
住所 (書類送付用)	〒 _____ 都 道 区・市 _____ 府 県 郡					
電話番号	()	携帯電話	()			
FAX	()	e-mail				
パスポート番号	※更新中の方は更新中と記入し、取得次第書面(FAX・メール可)にてご連絡ください			国籍		
緊急連絡先	〒 _____ TEL _____					
レッスン曲目 ①	邦題<作曲者名>		<邦題>		<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>		<原題>	
レッスン曲目 ②	邦題<作曲者名>		<邦題>		<演奏時間>	
	原語<作曲者名>		<作曲者の年代>		<原題>	
専攻楽器		日程 コース	第一次申込	A日程・B日程・C日程		
追加レッスン	希望する()回・検討中・希望しない					
学歴・賞歴						
現在までに師事した先生						
航空券手配 <small>※希望者のみご記入ください</small>	<input type="checkbox"/> 航空券自己手配を希望します 自己手配希望の理由: <input type="checkbox"/> 航空券アレンジを希望します(関空発等) アレンジの詳細:					
署名	上記の内容で申込をします 署名 _____				日付 _____ 印 _____	

※レッスン曲の原語は作曲者(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください

※この申込書に、パスポートの顔写真のページのコピーを添えてご提出ください

例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr. 30 op109

1,Vivace ma non Troppo

2,Prestissimo

3,Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo